

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

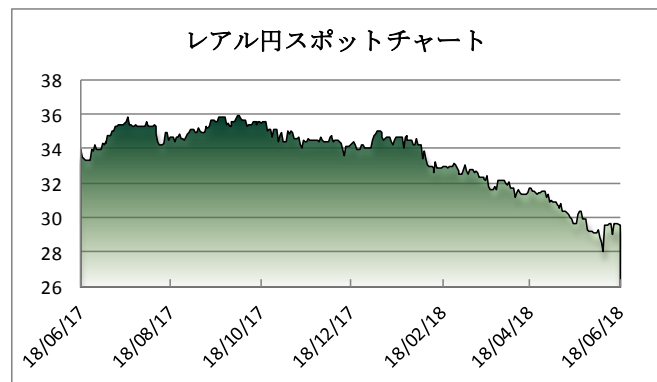
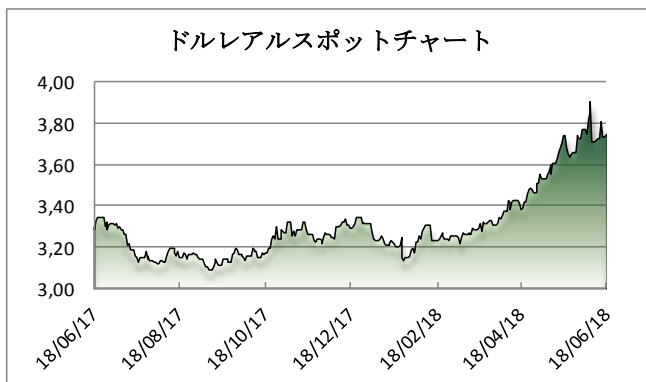
マーケットサマリー

今週から100億ドルを目処にスワップ入札を実施すると表明しているブラジル中銀であるが、昨日は2万枚（10億ドル相当）の入札を通知。レアル相場は比較的落ち着いた動きを取り戻しているが、米中貿易摩擦の懸念が高まっていることもあり、レアル売り圧力は依然として燻っている。為替相場が人為的に押さえ込まれている一方、ボベスパ指数は再び大台の70000ポイントを割り込むなど、株式相場はブラジルカントリーリスクの上昇を素直に反映。ブラジル5年クレジット・デフォルト・スワップ(CDS)も昨年5月のJBSショック時に記録した265台を上回り、280台まで上昇(2016年12月以来の水準)している。海外投資家がブラジル資産を敬遠しているのは明らかであり、ブラジル政府・中銀も相場変動を抑制することに苦心している。Folha紙が週末16日に報じたところによると、Eduardo Guardia財務相とGoldfajn中銀総裁は投機的な動きを牽制するため、対抗できる手段と規模(金額)について検討するタスクフォースを立ち上げた模様。投機的動きが顕著となった場合には、スワップ入札からスポット市場での買い戻し条件付きドル売り(FXクレジットライン)と外貨準備の利用へ舵を切る可能性が高い。取引時間中には、「現在のペースで10月大統領選までスワップ入札を実施することは(持続)不可能」との中銀非公式見解も伝わっており、中銀が繰り出す次の一手にマーケットの関心が一層高まっている。なお、中銀が昨日公表した週次サーベイ(FOCUS)では、年末のレアル相場見通しが足許のマーケット動向にキャッチアップする形で、前週の3.50から3.63へ引き上げられている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	6月15日	6月18日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,7295	3,7470	0,47%	0,25%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,67	29,52	-0,51%	-0,40%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,3307	4,3531	0,52%	-1,03%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,66	110,55	-0,10%	-0,21%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	128,43	128,49	0,05%	-1,46%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	70.758	69.815	-1,33%	-15,97%	88.318	69.360
CDS Brazil 5yrs		bps	272,10	278,04	2,18%	37,14%	283,09	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	12,09	12,10	0,08%	14,02%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	7,30	7,16	-1,99%	7,03%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3259	2,3259	0,00%	-0,15%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	196,24	196,18	-0,03%	-3,69%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。